

上月りようすけニュース No.20

参議院議員上月良祐です。皆さまには大変お世話になり、ありがとうございます。

6月に閉会した第213回国会では、少子化対策を強化する子ども・子育て支援法、農政の憲法ともいわれる食料・農業・農村基本法、そして政治資金規正法が成立し、副大臣を務める経産分野でもGX関連法案が成立しました。日本経済は「潮目の変化」を迎えており、今後は昨年を上回る力強い賃上げと価格転嫁の動きを、中小・小規模事業者も含め着実に広げていかなければなりません。

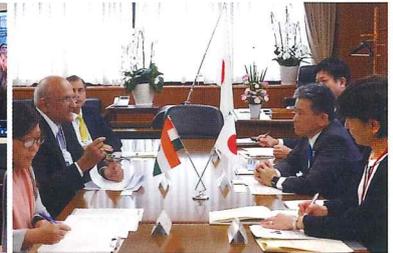
政治資金をめぐる問題では、自民党として反省をしっかりと形にし、課題山積の国内と激動する国際情勢の中、その使命を果たしていけますよう、党の一員として全力で努めてまいります。

経済産業副大臣 兼 内閣府副大臣として



▶第13回WTO（世界貿易機関）閣僚会議に出席するためアブダビへ。世界各国の大臣級が集まり、2年に1度開催されるこの会議はWTOの最高意思決定機関です。「国」を代表し「国益」をかけて各国代表と交渉に当たりました。全会一致のため調整が難航を極め、交渉の難しさを痛感。事務方で決着がつかない事項を閣僚だけで交渉する場面では度胸も大いに試されます。得難い経験になりました

▶日・スペイン経済交流フォーラム。風力発電や水素、通信等の分野での連携強化に向けた期待を述べました



▶アラブ各国の大臣が一堂に会しての日・アラブ経済フォーラム閣僚会議。「強靱な経済発展」セッションで、エネルギー、DX分野等について、我が国の取組みや方向性を述べました。サウジアラビアとのバイ（二国間）会談では、関西万博に向けての協力についても意見交換を行いました

▶重要鉱物の国際会議にて、ブリンケン國務長官も出席

▶インド経済界の皆さんと、日印経済協力の意見交換



▶予算委員会にて加藤明良議員のGX関係の質問に答弁

▶東京ガスのメタネーションの取組みを矢田総理補佐官と視察

▶1月にウズベキスタンで交渉したクドラトフ大臣が来日され再会



▶山梨県での水素関係の取組みを視察。サントリー白洲工場の起工式でご挨拶

▶全国の中小企業の後継者が既存の経営資源を活かした新規事業を競う「アトツギ甲子園」決勝大会にてご挨拶

▶街の本屋さんは減っており、1/4の市町村には書店がなくなっています。経産省では街の書店を「日本の重要なコンテンツ産業の一翼」と位置付け、プロジェクトチームを立ち上げました。唯一の書店が昨年閉店した狛江市では、本を愛する市民の声の後押しで書店が復活し、そのイベントでご挨拶。このような動きを全国に広げていきたいです

養護老人ホームの危機的現状 ～最後のセーフティネットを守る～

閉鎖や定員減が相次いでいる養護老人ホームの危機的状況を知ってもらうため、党の「地域の介護と福祉を考える参議院の会」で実情を訴えました。財政措置に関する自治体の誤解、施設運営に係る委託単価改定には国が関与すべきこと、物価高騰の中本当に厳しい運営を強いられている養護の現場の実情を指摘し、厚労省・総務省の官僚に「見て見ぬふりをせず、一緒にこの問題に取り組んでほしい」と訴えました。

さらに、茨城県老施協主催の「養護老人ホームについて徹底的に考えるシンポジウム」にも登壇させていただきました。高齢者の最後のセーフティネットを壊さないため大切な現場を支えられるのか、分権の「鼎の軽重」が問われています。引き続き馬力を上げて頑張っていきます！



地域の介護と福祉を考える参議院議員の会

養護老人ホームとは？

- ・現在の環境での生活が難しく、かつ、経済的に困窮する65歳以上の高齢者を養護し、社会復帰を支援する施設
- ・市町村長が入所措置を決定 ※施設と利用者との直接契約で入所できる特別養護老人ホームとは異なります

何が問題？

- 「措置控え」による入所率の低下
 - ・財政措置が不十分だという誤解から、市町村が入所措置を行わない傾向がある
 - ・市町村担当者が施設や制度自体をよく知らない可能性も（所得の上限はないにも関わらず、市町村の担当者が「収入があるので措置できない」とするケースがある）
- 市町村からの措置委託費が改定されていない
 - ・平成17年度に分権で措置費改定が市町村に移譲されて以降、運営が苦しくなった施設が増加
- 国補助が県に移譲され、十分な補助がなされておらず、老朽化による建替えができない

イ 現 状 の メ ー ジ	国	：市区町村に権限があるので、市区町村が決めること
	県	：県には、市に措置費改定を指示する権限は現在ありません
	市町村	：国や県から措置費改定の指示がきません。計算方法もよくわかりません（指示待ち）



車検の運用が変わります ～自動車整備業界の抱える課題への対応～



今年10月から新たにOBD検査が導入されます。自動車に内蔵された電子制御システムが正しく動くか検査するものです。国交省が専用スキャンツールの導入支援の補助を行っていますが、高齢の方々ではPC設定等が難しいとの声もあり、県内で全国初となる初期設定支援トライアルも行われました。

車検は年度末に集中しており、整備工場にも運輸支局にも負担が大きく、ユーザーも予約が取りづらいという問題があります。来年4月から、車検を受けられる期間が、車検証の有効期限の満了日の「1か月前」から「2か月前」に規制緩和されます。また令和6年8月から実施予定だった「ヘッドライトのロービーム検査方法の見直し」は2年先送りになりました。これらは、昨年秋、県内の自動車整備31支部を2回にわけ国交本省が各支部長等と直接意見交換するという画期的な取組みの大きな成果です。現場での直接の意見交換を茨城からスタートしていただき、その動きに私もしっかり携わることができました。

地域の声が全国の制度変更につながり、政策実現していく。3年前の県南西地域でのヤード問題への対応に加え、県内約2700の事業者の皆さんのお力になれたことを嬉しく思います。

SS（給油所）のネットワーク維持、ガソリンの不当廉売問題について

3・11の震災時に副知事としてガソリン不足の対策にあたりました。最後に助けてくれたのは地元で根を張った販売業者の方々でした。全国のSSはこの30年で約6万⇒約2.8万か所へと半分以下に減っています。特に車なしでは生活が難しい地域にとって深刻な問題になっています。

私は、党の「SSの新たな利活用をめざすプロジェクトチーム」の幹事として、この問題に取り組んでいます。SSは車への給油だけでなく、台風や水害、地震など甚大な災害時に地域における燃料供給の「最後の砦」として被災地の皆さんの生活燃料を供給し、迅速な復旧を支える拠点を担っています。

大規模なSSを併設した大規模量販店の出店により、経営が脅かされる問題について昨年国会で質問しました。例えば浜松市では、出店後周辺SSが6年で70店閉店しています。年平均5.6%の減少率で、全国平均の2倍以上です。一方、業界の皆さんと以前から取り組んでいた不当廉売の問題で、周辺給油所よりも1ℓあたり20円ほど安く販売していた土浦市の業者に対し、公取委は独禁法に違反するおそれがある旨「警告」しました。これはガソリン不当廉売ガイドライン改正後初の警告です。SSネットワークの維持、エネルギー供給の最後の砦としての重要性について引き続き訴え、安心して経営を続けられるような制度づくりに取り組んでまいります。



▶ 齋藤経産大臣への申し入れに立会い



▶ 石油問題議連で必死に訴えています

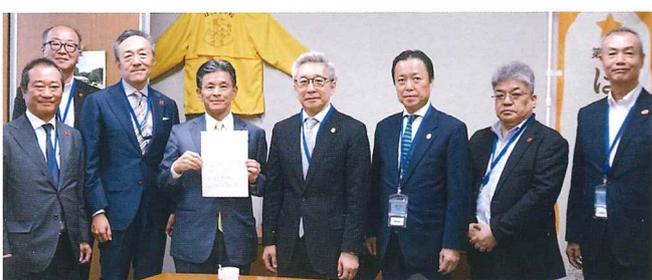
様々な分野で日々精力的に活動しています



▶ G1 サミット in 沖縄で藻谷浩介先生らと登壇。分権との関係、地銀の力の大切さ、インバウンドと農産物輸出などについてお話をしました



▶ 事務局長を務めるフラワー産業議員連盟にて。花きの生産・流通・販売の振興及び花文化の普及に向けた取組みを活性化していきます



▶ 全日本印刷工業組合連合会・政治連盟の皆さんと

「月間柔道」の巻頭言を書かせていただきました。講道館にて、鹿嶋市出身の仮屋さんと



▶ 中販連定時総会懇親会にて、茨城の長嶋会長、松井事務局長と



▶ 全日本トラック協会懇親会にて、茨城の小倉会長、小倉副会長、齋藤専務理事、加藤先生と



▶ 官邸にて／上：銚田市のメロンを贈呈中；水戸・つくば市の梅まつりをPR 下：潮来市のあやめまつり大会をPR



▶ 日本弁護士連合会祝賀会にて、茨城の篠崎会長と



▶ 日本環境保全協会定時総会懇親会にて、茨城の岡島理事長はじめ役員の方々と



▶ 日本司法書士政治連盟定時大会懇親会にて、茨城の宮本会長、片岡幹事長と



▶日本グランプリシリーズ水戸招待陸上にて。桜井会長と来賓、役員で



▶歯科医師連盟の皆さんと。指導監査や金パラ問題について意見交換



▶水戸ホーリーホックのキックオフパーティーにてご挨拶



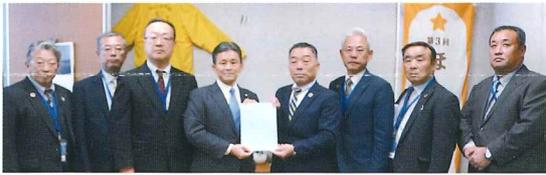
▶建築士事務所協会創立 40周年記念祝賀会



▶鹿島共同可燃ごみクリーンセンター竣工式



▶森林・林業関係団体の会で、木製の名札をいただきました



▶JA 県中央会 八木岡会長はじめ組合長、役員の方々と、県青年連盟の方々と



▶大子町での常陸国 YOSAKOI 祭り。山形大花笠サークル「四面楚歌」の方々と



▶鹿島アントラーズ小泉社長とスポーツと地域振興等について意見交換



▶JA 県中央会 八木岡会長はじめ組合長、役員の方々と、県青年連盟の方々と



▶茨城県の農地保全と開発の調整について、知事、市町村長と連携し坂本農水大臣に要請



▶特定外来生物ナガエツルノゲイトウの被害状況を確認



▶JA 県中央会 八木岡会長はじめ組合長、役員の方々と、県青年連盟の方々と



▶県郵便局長会の岡田元会長の叙勲祝賀会にて。地域人口も減少し、郵便物が減少する中、郵便は大変難しい局面を迎えています。マイナンバーカードの活用や自治体業務との連携、他業種との協業などにより、地域とともに発展していただきたいと考えています



▶茨城県の農地保全と開発の調整について、知事、市町村長と連携し坂本農水大臣に要請



▶特定外来生物ナガエツルノゲイトウの被害状況を確認



▶県庁で 5 年ぶりに開催されたスイーツフェアにて。小齋会長、根本前会長と。大盛況でした



▶しんあい農園の澤畑代表と。子育て世代が働きやすい職場環境を整えていらっしゃいます



▶茨城店舗設備にて干し芋ソフトで一息。美味しい♪



▶旧公民館をリノベしてつくられた木内酒造の石岡市八郷のウイスキー蒸留所を視察

上月りょうすけプロフィール

昭和 37 年生まれ/昭和 62 年 東京大学法学部卒・自治省入省/平成 17~24 年 茨城県総務部長、副知事/平成 25 年 参議院議員初当選
平成 29 年 農林水産大臣政務官/令和元年 参議院議員再選/令和 2 年 農林水産委員長/令和 5 年 12 月~ 経済産業副大臣兼内閣府副大臣
令和 6 年 7 月発行 討議資料

